

養命酒製造株式会社

第92期 株主通信

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

目次

株主の皆様へ	1
生活者の豊かな健康生活への さらなる貢献を目指して	
トピックス	5
財務ハイライト	6
財務諸表	7
株式情報	9
株主アンケート結果ご報告	10
会社概要	10
特集	11
中央アルプスの山麓にある駒ヶ根工場	



Yomeishu

証券コード：2540



Yomeishu

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に
貢献する

経営目標(基本方針)

少子高齢化社会に即した
成長戦略の実現により
企業価値を高める

株主の皆様へ

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して



代表取締役社長

塩澤 太朗

株主の皆様におかれましては、ますます
ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜わり誠にありが
とうございます。

平成22年6月

第92期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の取組み、業績について

当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」ことを経営理念とし、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針に、第2次中期経営計画（平成19年4月～平成23年3月）の主要戦略である

- ①「新たな成長事業の推進」の具現化に向けた各施策
- ②「養命酒」事業の収益構造の維持

に取り組んでまいりました。

【第92期の業績】

「養命酒」事業につきましては、各施策の費用対効果等の再検証による広告活動の見直しを行い、テレビや新聞、ウェブ、交通広告等、様々な媒体をより効率的に活用し、東洋医学における「未病」という概念の定着を図るとともに、年齢や性別に限定することなく「胃腸虚弱」や「冷え」、「疲れ」の改善に焦点を当てた訴求を継続的に行いました。また、テレビスポット広告の実施や、広告と連動した店頭における販売促進活動を展開したものの、改正薬事法施行前の混乱による影響や予想以上に厳しい消費環境の影響を受け、「養命酒」の国内売上高は11,501百万円（前期比10.6%減）となりました。

海外につきましては、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動の展開や見直しに取り組み、「養命酒」の理解と知名度の向上に向け、取扱店舗の拡大や店頭における販売促進活動の強化に努めたものの、「養命酒」の売上高は420百万円（前期比23.4%減）となりました。

以上の結果、主力商品「養命酒」の売上に不動産賃貸収入及びその他の売上进行を合算いたしまして、その売上高は12,323百万円（前期比10.3%減）となりました。また、利益面につきましては、経費の見直しを行うとともに節減に努め、営業利益は1,607百万円（前期比31.7%減）、経常利益は1,838百万円（前期比29.7%減）、当期純利益は1,071百万円（前期比38.0%減）となりました。

第2次中期経営計画について

第1次中期経営計画（平成16年4月～平成19年3月）では、「養命酒」事業のコストダウンの徹底による高収益化を柱として収益構造の改善を行い、新たな成長事業を推進していくための基盤を構築いたしました。また、この間にこの中期経営計画を一層推進するために平成17年7月に大正製薬株式会社との業務・資本提携を行いました。第2次中期経営計画（平成19年4月～平成23年3月）では、第1次中期経営計画で築いた収益構造の基盤をもとに、経営理念を「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」とし、

- ①新たな成長事業の推進
- ②「養命酒」事業の再構築
- ③大正製薬株式会社との連携強化
- ④財務体質の改善と向上
- ⑤意識構造の変革と活力ある人材の育成
- ⑥CSR（企業の社会的責任）の実践

の6つの経営戦略を策定いたしました。これらを強い意志をもって推し進めていくことによって生活者の皆様の豊かな健康生活に貢献してまいります。

「新たな成長事業の推進」の各施策の進捗状況

酒系市場におきまして、消費者ニーズの多様化に対応した独自のハーブリキュールカテゴリーの開拓を目指し、薬味酒「養命酒」を全面リニューアルした13種類のハーブのリキュール「**ハーブの恵み**」を平成22年3月より販売開始いたしました。小売店等のバイヤーを対象とした見本市への出展や味のイメージを伝えるためのサンプルプレゼントキャンペーン等の商品認知を図るための活動を展開するとともに、3月下旬よりテレビ広告を実施するなど、積極的な販売促進活動に取り組みました。

また、長野県諏訪市における社有地の有効活用を図り、飲食や物販事業を通して生活者の皆様に安全で健康的な食やサービスの提供を目指した健康生活提案型複合施設につきましては、平成22年4月の開業に向けた準備に取り組みました。この施設を生活者の皆様の「暮らしの和」を意味する「**くらすわ**」と命名し、生活者の皆様に接する場としておもてなしの心や癒しを提供してまいります。

なお、「薬用 養命酒」へのニーズの補完を目指し、大正製薬株式会社と共同開発したドリンク剤「**リオン**」につきましては、平成21年9月より一部地域（福岡県、山口県、佐賀県）における先行販売を開始し、取扱店舗数の拡大に努めました。

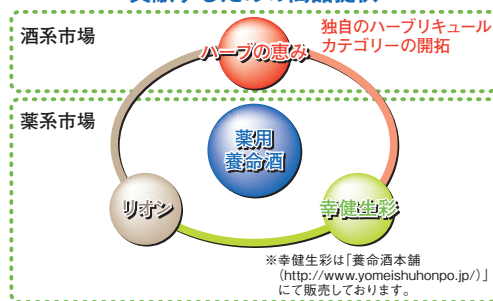
生活者の皆様の豊かな健康生活に貢献

生活者の豊かな健康生活に貢献するための商品として「薬用養命酒」を中心に、薬系市場においては医薬部外品の錠剤「幸健生彩」や、平成21年9月に福岡県、山口県、佐賀県で先行販売いたしました医薬部外品のドリンク剤「リオン」を提供してまいりました。また、酒系市場においては消費者ニーズの多様化に対応した新規市場の開拓と新たなブランドの育成を目指し、薬味酒「養命酒」を全面リニューアルし、「ハーブの恵み」を平成22年3月8日に発売いたしました。独自のハーブリキュールカテゴリーの開拓を目指してまいります。

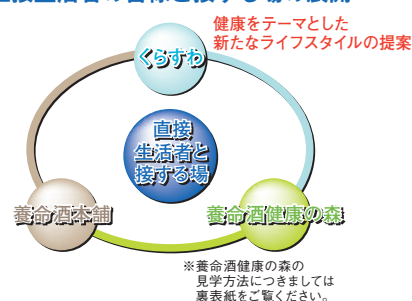
また、直接生活者の皆様と接する場としてこれまでも駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」や自然と健康にこだわったインターネット通販販売サイト「養命酒本舗」に取り組んでまいりました。平成22年4月に開業いたしました健康生活提案型複合施設「くらすわ」では、飲食や物販事業を通して当社の生薬に関するノウハウを活かし、健康をテーマとした新たなライフスタイルの提案を行ってまいります。直接生活者の皆様と接する場において、おもてなしの心や癒しを提供し、お客様のニーズを捉え、今後の事業展開に活かしてまいります。

今後もこれらの商品の提供やサービスを通じて、生活者の皆様の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献することを目指してまいります。

生活者の皆様の豊かな健康生活に 貢献するための商品提供



直接生活者の皆様と接する場の展開



株主の皆様へメッセージ

当社は、第2次中期経営計画の最終年度（平成23年3月期）に当たり、本年4月1日より営業本部、生産事業本部、事業開発本部、管理本部の4本部制とし、この体制の下、「養命酒」事業の収益構造の維持と更なる改善を目指した各施策の費用対効果等の再検証を行い、販売促進活動を再構築するとともに、「ハーブの恵み」や健康生活提案型複合施設「くらすわ」等の新たな取組みにおける事業基盤の構築、東南アジア諸国を中心とした海外における事業展開の再検証・再構築等の各施策に取り組み、第2次中期経営計画の達成を目指してまいります。「養命酒」事業の収益構造の維持・改善を基盤として、経営資源を効果的に活用し、より価値のある商品・サービスの提供と企業価値の向上を通じて株主の皆様から一層大きな支持をいただける企業へと進化してまいります。

また、この方針の下、大正製薬株式会社と生薬に関連した研究開発等を推進し、業務・資本提携効果の拡大を図ってまいります。

今後も、安全で良質な商品・サービスの提供を実践し、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の一層の強化を図るとともに、更なる経営改善を推進し、企業の社会的責任を果たし、株主各位のご期待にお応えする所存であります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

新商品「ハーブの恵み」



「ハーブの恵み」(リキュール)
希望小売価格(税込)

1000ml: 1,775円
700ml: 1,281円
200ml: 378円

開発コンセプトは「心と体の癒しのお酒」

当社の薬酒の製法に関する伝統的な技術、東洋ハーブに関して長年培ってきた知見を活かし、東洋ハーブを原料とするナチュラルで健康的なお酒を造り、そのお酒により新しい市場を創造したいという思いから、コンセプトを「心と体の癒しのお酒」とし、「ハーブの恵み」を開発いたしました。

心と体で楽しめるよう13種類のハーブをバランスよく配合

「ハーブの恵み」は、ハーブの自然の恵みを心と体で楽しめるように、13種類のハーブをバランスよく配合しています。東洋ハーブを原料としていることが大きな特長です。

新しい顧客層の獲得を目指す

「ハーブの恵み」では、ハーブや癒しに対し関心のある30～50代の女性を対象とし、ターゲットの拡大を図ってまいります。



健康生活提案型複合施設「くらすわ」

「食を通して皆様の健やかな暮らしに貢献したい」

「くらすわ」はそのような思いから、信州の老舗企業、生産者の方々とのコラボレーションを積極的に行い、信州における美味しいもの、からだに良いもの、生活に潤いを与えるものを商品化しつづけてまいります。「くらすわ」において直接生活者の皆様に接する場としておもてなしの心や癒しを提供してまいります。

「くらすわ」までのご案内



列車をご利用の場合

- 東京から
- 中央本線(特急あずさ)
上諏訪駅で下車。
- 名古屋から
- 中央本線(特急ワイドビューしなの)
塩尻駅で中央本線へ乗換
上諏訪駅で下車。
上諏訪駅から徒歩約10分。

お車をご利用の場合

- 中央自動車道
諏訪インターチェンジから車で約15分。

ショップ(1階) 信州地産地集[®]マーケット

醸し蔵(かもしぐら)

お酒や味噌、醤油や漬物などの醸造・発酵食品。

匠工房(たくみこうぼう)

オリジナル豚「信州十四豚」でつくったハムやソーセージ、地元食材を使用した焼きたてパンやパウンドケーキ、その場で食べられるイートインを併設しております。

四季ギャラリー(しきぎやらりー)

旬の食材を使った季節限定のジャムや和漢薬材を使い開発したお菓子、アーティストがつくる季節の雑貨やインテリアなど。

※当社では、信州で育まれた逸品を当社のネットワークを駆使して集め、生活者の皆様の元へお届けすることを「地産地集」と呼んでいます。

レストラン(2階) 信州十四豚と旬野菜料理

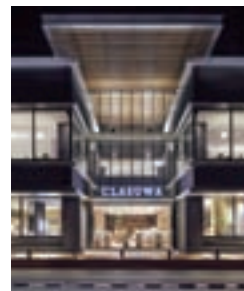
信州十四豚

(シンシュウジューシーボーク)

「信州十四豚」はストレスを極力排除した飼育環境のもと、抗生物質などの投薬を一切行わず育てられた安全、安心な豚(無薬のSPF豚)です。さらに、薬酒の原料である十四種類の生薬残渣(ザンサ)を飼料化したものやヨーグルトを与えた健康な豚であることから、その肉は柔らかく、瑞々しいのが特長です。

旬野菜

昼夜の寒暖差のはげしい信州で育った野菜は、瑞々しく、甘みがあるのが特長です。

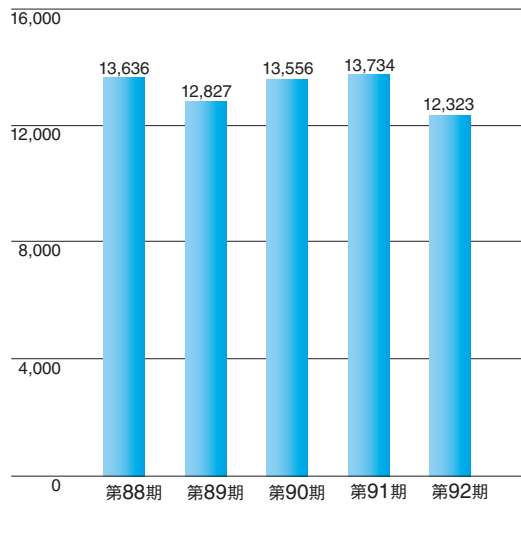


「くらすわ」
長野県諏訪市湖岸通り3丁目
1-30
TEL0266-52-9630

財務ハイライト

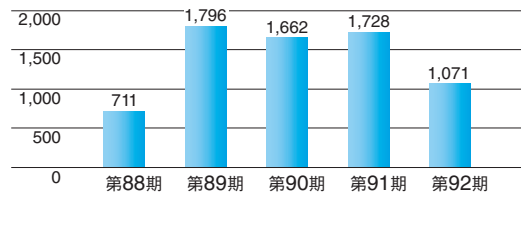
(単位:百万円)

売上高



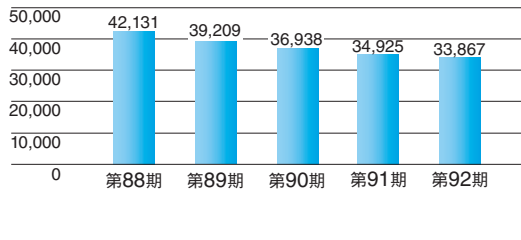
(単位:百万円)

当期純利益



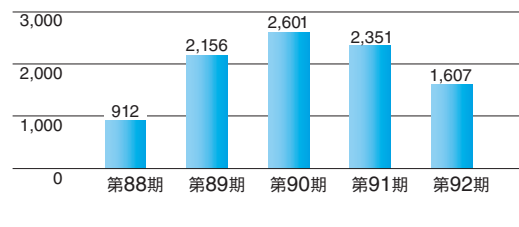
(単位:百万円)

総資産



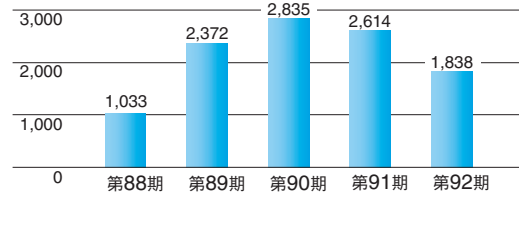
(単位:百万円)

営業利益



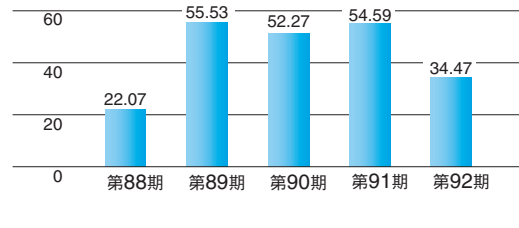
(単位:百万円)

経常利益



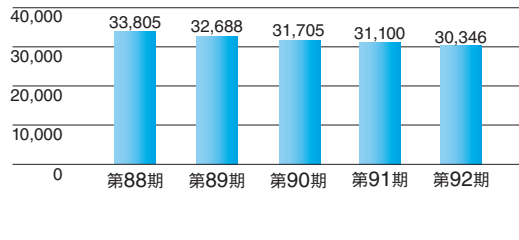
(単位:円)

1株当たり当期純利益



(単位:百万円)

純資産



財務諸表

ポイント

貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (平成21年3月31日)	当事業年度 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産	11,899	9,617
固定資産	23,025	24,250
有形固定資産	7,160	7,942
無形固定資産	204	138
投資その他の資産	15,660	16,169
資産合計	34,925	33,867
負債の部		
流動負債	2,591	2,247
固定負債	1,233	1,273
負債合計	3,824	3,521
純資産の部		
株主資本	30,681	29,893
資本金	1,650	1,650
資本剰余金	676	676
利益剰余金	29,945	30,447
自己株式	△1,589	△2,880
評価・換算差額等	418	452
その他有価証券評価差額金	418	452
純資産合計	31,100	30,346
負債純資産合計	34,925	33,867

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

【総資産】 前期末に比べ1,057百万円減少し、33,867百万円となりました。

【流動資産】 前期末に比べ2,282百万円減少し、9,617百万円となりました。これは主に有形固定資産及び自己株式の取得等により現金及び預金が1,285百万円、債券の満期償還等により有価証券が800百万円それぞれ減少したことによるものです。

【固定資産】 前期末に比べ1,225百万円増加し、24,250百万円となりました。これは主に1年内償還予定となる国債の流動資産への振替等により投資有価証券が370百万円減少した一方で、複合商業施設の取得等により有形固定資産が782百万円、長期預金が1,100百万円それぞれ増加したことによるものです。

【流動負債】 前期末に比べ344百万円減少し、2,247百万円となりました。これは主に未払法人税等が412百万円減少したことによるものです。

【固定負債】 前期末に比べ40百万円増加し、1,273百万円となりました。これは主に退職給付引当金を65百万円計上したことによるものです。

【純資産】 前期末に比べ753百万円減少し、30,346百万円となりました。これは主に当期純利益1,071百万円の計上による増加、自己株式1,290百万円の取得による減少、配当金568百万円の支払いによる減少によるものです。

損益計算書

【売上高】 改正薬事法施行前の混乱による影響や予想以上に厳しい消費環境の影響を受け主力商品「養命酒」の売上高の減少により、12,323百万円と前期比10.3%の減少となりました。

【利益】 経費の見直しを行うとともに節減に努め、営業利益は1,607百万円と前期比31.7%の減少、経常利益は1,838百万円と前期比29.7%の減少、当期純利益は1,071百万円と前期比38.0%の減少となりました。

キャッシュ・フロー計算書

【営業活動によるキャッシュ・フロー】 営業活動の結果増加した資金は、1,822百万円(前期比23.0%減)となりました。これは主に税引前当期純利益1,765百万円、減価償却費768百万円、売上債権の減少額512百万円、たな卸資産の増加額312百万円及び法人税等の支払額1,107百万円等によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】 投資活動の結果減少した資金は、2,251百万円(前期比61.2%増)となりました。これは主に有価証券の償還による収入500百万円、複合商業施設を含む有形固定資産の取得による支出1,469百万円、投資有価証券の取得による支出1,480百万円等によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】 財務活動の結果減少した資金は、1,856百万円(前期比178.6%増)となりました。これは自己株式の取得による支出1,290百万円、配当金の支払額566百万円によるものです。

損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	13,734	12,323
売上原価	4,266	3,807
売上総利益	9,468	8,516
販売費及び一般管理費	7,116	6,909
営業利益	2,351	1,607
営業外収益	285	255
営業外費用	22	24
経常利益	2,614	1,838
特別利益	272	0
特別損失	78	73
税引前当期純利益	2,808	1,765
法人税、住民税及び事業税	1,084	697
法人税等調整額	△4	△2
当期純利益	1,728	1,071

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,367	1,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,396	△2,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△666	△1,856
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	304	△2,285
現金及び現金同等物の期首残高	5,155	5,459
現金及び現金同等物の期末残高	5,459	3,174

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書（要旨）

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：百万円）

科目	残高及び変動事由	金額
株主資本		
資本金	前期末残高及び当期末残高	1,650
資本剰余金		
資本準備金	前期末残高及び当期末残高	404
その他資本剰余金	前期末残高及び当期末残高	271
資本剰余金合計	前期末残高及び当期末残高	676
利益剰余金		
利益準備金	前期末残高及び当期末残高	412
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	前期末残高 当期変動額 固定資産圧縮積立金の取崩 当期末残高	17 △1 15
別途積立金	前期末残高 当期変動額 別途積立金の積立 当期末残高	27,731 1,150 28,881
繰越利益剰余金	前期末残高 当期変動額 固定資産圧縮積立金の取崩 別途積立金の積立 剰余金の配当 当期純利益	1,784 1 △1,150 △568 1,071 1,138
利益剰余金合計	当期末残高 前期末残高 当期変動額	29,945 — —
自己株式	当期末残高 前期末残高 当期変動額 自己株式の取得 当期末残高	30,447 △1,589 △1,290 △2,880
株主資本合計	前期末残高 当期変動額	30,681 △568
	剰余金の配当 当期純利益 自己株式の取得	1,071 △1,290 △1,290
	当期末残高	29,893
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	前期末残高 当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） 当期末残高	418 34 452
評価・換算差額等合計	前期末残高 当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） 当期末残高	418 34 452
純資産合計	前期末残高 当期変動額	31,100 △568
	剰余金の配当 当期純利益 自己株式の取得 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,071 △1,290 △1,290 34
	当期末残高	30,346

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

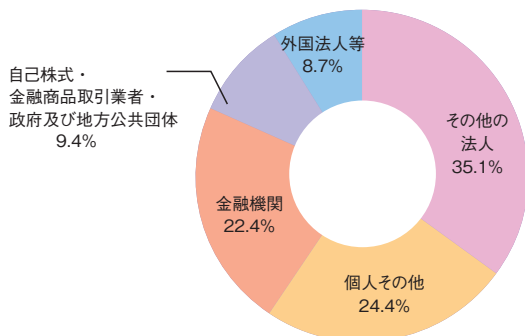
■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

■ 株式の状況 (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,325名

■ 所有者別株式分布状況 (平成22年3月31日現在)



■ 株式に関するお手続きについて

■ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等(*1)にお問い合わせください。	

(*1) 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*2) 	特別口座の口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (*3) 電話 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 電話 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/

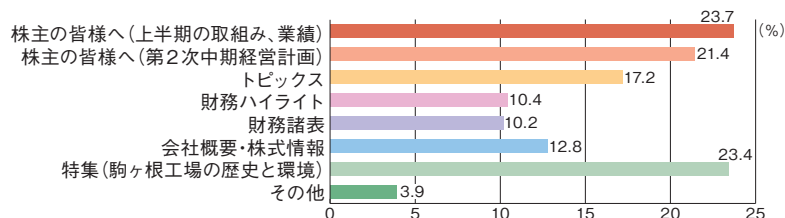
(*2) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方法はお選びいただけません。

(*3) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株主アンケート結果ご報告

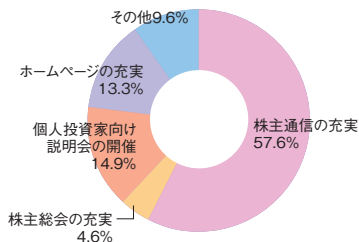
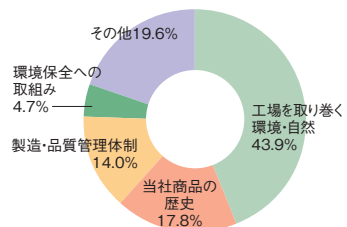
昨年12月に株主の皆様のご意見を伺うアンケートを実施いたしました。大変多くの皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。ここではアンケート結果の一部をご報告いたします。株主の皆様からいただいた貴重なご意見は、今後のIR活動の参考とさせていただきます。
(ご回答384名様、ご回答率11.5%)

第92期中間株主通信をご覧になって、興味を持たれた記事（複数回答可）



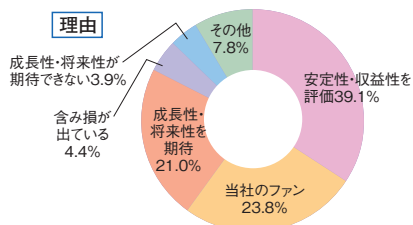
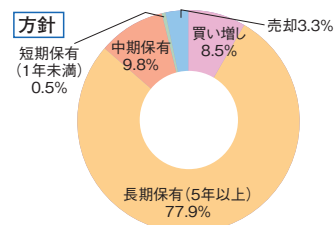
当社駒ヶ根工場を見学されたことのある方は、ご回答者全体の3割でした。その方々が印象に残ったこと（1つだけ）

今後充実を期待する情報提供手段（1つだけ）



※駒ヶ根工場見学方法につきましては裏表紙をご覧ください。

当社株式の今後の保有方針とその理由（1つだけ）



会社概要 （平成22年3月31日現在）

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO.,LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL http://www.yomeishu.co.jp/
事業所	大阪支店、福岡支店、 駒ヶ根工場、中央研究所 施設運営事業部（くらすわ）※ ※平成22年4月1日付新設
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	・「養命酒」の製造販売 ・酒類、医薬品等の製造、販売
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	253名
役員	代表取締役社長 塩澤 太郎 代表取締役副社長執行役員 川村 昌平 常務取締役執行役員 竹村 彰司 常務取締役執行役員 小島 義久 常務取締役執行役員 松澤 勝彦 取締役執行役員 田中 英雄 取締役執行役員 唐澤 久雄 取締役執行役員 北園 芳種 取締役執行役員 吉松 敬雄 取締役執行役員 大野 靖 常勤監査役 松田 伴明 常勤監査役 矢部與四男 監査役 笠原 孟 監査役 井出 正一 執行役員 宮下 久宜 執行役員 鹿養 貞人 執行役員 神林 敬 執行役員 大森 勉

中央アルプスの山麓にある駒ヶ根工場

～主力商品「養命酒」を生産する駒ヶ根工場をご案内します～



自然散策路



オニユリ

駒ヶ根工場は、中央アルプスの「空木岳（うつぎだけ）」の麓、海拔800mの高原に立地し、敷地の広さは約36万㎡、その70％は自然の森林に覆われています。

当社では、この工場内の自然をゆっくりと散策していただけるよう

- A 濃密な空気。風のおいさえ楽しめる「木浴コース」
- B コアジサイなど清楚な美が、林間にひろがる「あじさいの小徑」
- C 清冽な水の音を耳に、花木を楽しめる「せせらぎコース」
- D 自然の可憐な美しさに、思わず心が和む「山野草コース」

の4つの散策路を整備しています。また、「工場周回コース」では、清流やアカマツ、シラカバなど美しい樹木、可憐な草花といったアルプスの自然の営み、縄文・弥生・平安時代の復元住居、そして各工場建物も見学することができます。

7月から8月の夏休みシーズンには、オニユリやキキョウ、リョウブ、ギボウシといった草花を楽しむことができます。また、小鳥やリスなどの小動物、稀にムササビもみることができます。

当社では、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の実践の一つとして駒ヶ根工場の豊かな自然環境を保護するとともに、生活者の皆様に満喫していただく環境作り日々取り組んでおります。



キキョウ



ムササビ

工場見学のご案内

列車をご利用の場合

東京から
●中央本線(特急あずさ)
岡谷駅でJR飯田線に
乗換
駒ヶ根駅で下車。

名古屋から
●中央本線(特急)
塩尻駅で岡谷方面
行きに乗換
さらに岡谷駅でJR飯
田線駒ヶ根方面行き
に乗換
駒ヶ根駅で下車。

駒ヶ根駅からタクシーで
約15分。

お車をご利用の場合

中央自動車道
駒ヶ根インターチェンジから車で約10分。
(案内看板があります)



ご見学のお申し込み・お問合わせ
TEL 0265-82-3310
FAX 0265-82-6414



養命酒製造株式会社
東京都渋谷区南平台町16番2号
TEL : 03-3462-8111 FAX : 03-3462-8340

ご訂正

本書におきまして、下記のとおり訂正させていただきます。

記

11 ページの 13 行目及び写真見出し

誤	正
オニユリ	ヤマユリ

以 上